1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090100708		
法人名	社会福祉法人 あさひ福祉会		
事業所名	グループホームしんこう		
所在地	長野県長野市信更町田野口231-1		
自己評価作成日	令和 6年 11月 1日	評価結果市町村受理日	令和 6年 12月 26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JijyoSyosyoCd=2090100708-00&PrefCd=20&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 6年 11月 21日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、周囲を緑に囲まれた自然豊かな静かな場所です。各居室から田んぼや畑、山々を眺める事ができ、四季折々風景が楽しめます。ご家族様との面会はユニット外の決められたスペースで行っております。面会時に入居されている方の日常の状態を少しでも分かっていたくため、入居者様のみそ場の飲食を可能としています。現在ボランティアの方々の受け入れをしていない為、事業所内でのレクリエーションや行事の充実を図っています。年4回のリハビリ教室では理学療法士の先生の指導をスタッフがしっかりと記録し、他のスタッフに伝え、毎日の体操の時間に取り入れています。また季節に応じて外出(お花見、公園への散歩、菊花展等)の機会は増えています。日頃から体調面で安心して過ごす事ができるように診療所の先生にご協力頂き、日々のバイタルや生活の様子等を報告し、身体状況の把握に努めています。また入居後数か月経過した時期や、身体状況が変化しつつある時期には、先生からご家族様への面談の機会を設け丁寧に説明して頂いています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

長野市信更地区の、周囲の山々が見事な紅葉に染まり、また、リンゴ畑や田んぼなどが望める悠然とした山里の中に、開設から10年目を迎えた当ホームがある。現在、利用者の平均年齢は92.6歳で、90歳以上の方が13人と超高齢化している。そのような中、「利用者の価値観(好み・希望・満足)の尊重」という法人理念や「その人らしさに共感し、今の暮らしを継続していく」という当ホームのビジョンを基に年度の重点目標を定めている。「行事」「環境整備」「レクリエーション」「おやつと食事」等の各係に属し、月1回委員会を開き検討を重ねて、利用者一人ひとりの持てる力を引き出し、充実した日々が送れるよう工夫を重ねている。新型コロナウイルス感染は落ち着きつつあるものの予断は許さず、他の様々な感染症情報が伝わる中、当ホームでは、家族や知人・友人との面会については事前に予約を頂いた上で、1組3名まで、時間を10:00～11:00、14:00～16:00の間とし、1階の広い交流スペースで歓談していただいている。また、外出レクリエーションも感染対策を取りながら少人数で出掛け、新型コロナ前のペースに近づけている。超高齢化が進む中、月に1回、行事食として利用者にできるだけ参加していただき盛り付けなどを手伝っていただいている。更に、ホットプレートを使ったおやつ作りを楽しみ、「お好み焼き」「ホットケーキ」等、粉を混ぜながら賑やかに楽しいひと時を過ごしている。リハビリの理学療法士の指導を定期的に受け、利用者一人ひとりに合う体の動かし方を探って、合わせて日課としてラジオ体操、口腔体操なども行い、体力の維持に繋げている。職員は今年度のホームの重点目標「ご本人、ご家族に満足していただけるサービスの提供」を常に意識し、利用者職員、職員同士のコミュニケーションを図りながら支援に当たっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見ると、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見ると、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			